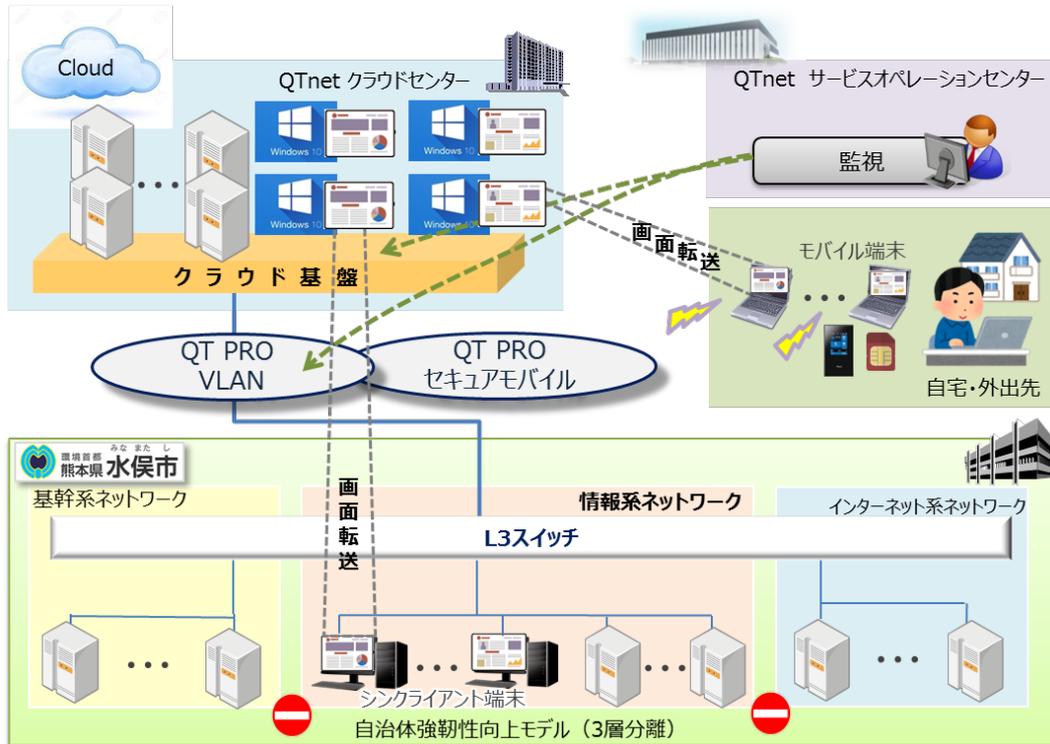


水俣市総合行政情報システム（内部情報系システム）の概要

1. 本業務の内容

総務省が示した自治体情報システム強靱性向上モデルにおける3層分離後のLGVAN系ネットワークに接続された新電算システムを対象とし、パソコン利用環境や業務サーバを運用する QTnet クラウドセンター内の仮想デスクトップ基盤や仮想サーバ基盤、それらを閉域網で接続する回線サービス（モバイルを含む）、並びに水俣市全職員のシンクライアント端末までを一括で提供。



2. 本業務の主な利点

oサービスレベルが低下することなく導入コストを低減！

クラウド環境の活用による導入コストの低減、および保守一元化による運用費の削減。

oBCP 対策を加味された利用環境！

モバイルを含む閉域の通信回線とクラウドサービスにより、非常災害時や庁舎移転時にも業務継続が可能。

o総務省の「自治体情報システム強靱性向上モデル」に準拠！

プライベートクラウドと閉域回線（モバイル回線含む） およびセキュリティクラウドを組み合わせることで高い情報セキュリティのレベルを確保。

o環境首都に相応しい行政システム！

クラウドセンター活用により廃棄物や電力使用量など水俣市内の環境負荷へ配慮。

o運用性の向上！

通信回線（モバイル含む）からクラウドサービスまで、弊社サービスオペレーションセンターによる一元的な運用と保守サポート。

o働き方改革！

閉域のモバイル回線を組み合わせることで、高いセキュリティを確保した上で庁外での業務も可能となり、スピーディな業務遂行やテレワークへの活用も可能。

以上